

## E - 6 3液処理剤テテナールでの映画フィルム(リバーサル)現像処理マニュアル

### 注意

- ・フィルムは丁寧に扱う。一度キズがついてしまったら取り除くことができない。
- ・フィルムをカートリッジに巻き込まないように注意のこと。巻き込むとカートリッジを破壊する必要。
- ・ファースト現像・カラー現像・漂白定着作業時は、ゴム手袋・白衣を着用する。
- ・タンクの扱い方 = 上部の小さいフタを開いて液を出し入れし、フタを閉める。大きなフタが外れないよう注意。
- ・攪拌 = 5秒間に4回のペースで、タンクを連続して上下転倒させる。
- ・各液は繰り返し使用する。自分の作業終了時にはもとのボトルに戻す。(バケツに捨てないこと)
- ・漂白定着液は産業廃棄物。処理業者へ引き渡す。
- ・後片付け。

### 1 - 1 . 前処理(約15分)

タンクにドライウエル(38 ± 0.5 )を70%程度満たす。  
ダークバッグ内に、タンク・フィルムカートリッジ・ハサミを入れる。  
フィルムの終端をカートリッジから外す。スーパーは引き抜いて、シングルはハサミで切って。  
フィルムをカートリッジから引き出しながらタンクに入れていく。  
フィルムがはみ出しタンクのフタに挟まらないよう注意しながらフタをしっかりと閉め、バッグから取り出す。

### 1 - 2 . プリウォーム(約5分)

タンク上部の小さいフタを開いて残りのドライウエル(38 ± 0.5 )を満たし、フタを閉める。  
60秒間攪拌する。  
タンクからドライウエル液をもとのボトルへ戻す。

### 2 . ファースト現像(約10分)...最重要工程 温度と処理時間を厳守!

タンクにファースト現像液(38 ± 0.5 )を満たす。  
30秒間攪拌し、30秒間静置する。  
次に「5秒間攪拌し、25秒間静置する作業」を10セット繰り返す。  
タンクからファースト現像液を、もとのボトルへ戻す。



### 3 . 水洗1(約10分)

「タンクに温水(38 ± 1 )を満たし10秒間攪拌し、温水を捨てる」作業を4セット繰り返す。



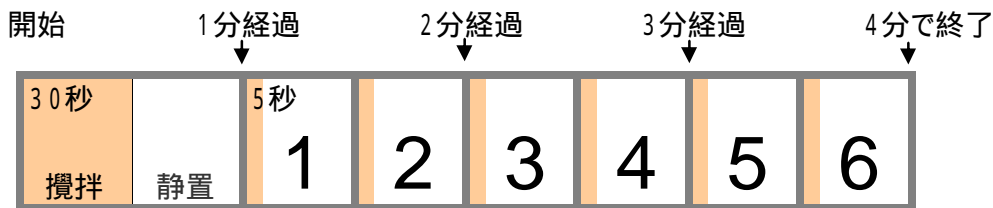
#### 4. カラー現像(約10分)

タンクにカラー現像液(38 ± 1)を満たす。

30秒間攪拌し、30秒間静置する。

次に「5秒間攪拌し、25秒間静置する作業」を6セット繰り返す。

タンクからファースト現像液を、もとのボトルへ戻す。



#### 5. 水洗2(約5分)

「タンクに温水(38 ± 3)を満たし10秒間攪拌し、温水を捨てる」作業を2セット繰り返す。



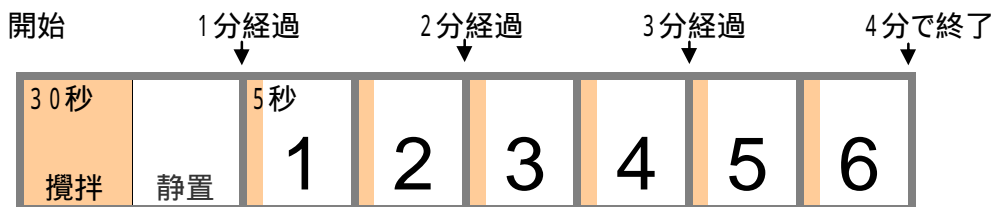
#### 6. 漂白定着(約10分)

タンクに漂白定着液(38 ± 3)を満たす。

30秒間攪拌し、30秒間静置する。

次に「5秒間攪拌し、25秒間静置する作業」を6セット繰り返す。

タンクから漂白定着液を、もとのボトルへ戻す。



#### 7. 最終水洗(約5分)

タンクのフタをあけ、フィルムをバケツに入れる。

水道の蛇口からの流水(そのままの温度)で、3分間水洗する。

シングルエイトは、スポンジでフィルムを挟んで拭き、バックコーティングの墨を取り除く。

#### 8. 安定浴(約5分)

スタビライザー

フィルムが入ったバケツに安定剤(20 ~ 30)を満たし、乾燥場所へ移動する。

#### 9. 乾燥

マット

物干しにフィルムの乳剤面(茶色っぽい非光沢な方の面)を上にしてに掛ける。

気候・天候によるが、数時間から1日で乾く。

#### 10. フィルムの巻き取り ...写真参照

フィルムの先端



現像された画像をみるなどして、フィルムの終端側を確認する。(先端側と間違えない。)

フィルムの終端をつまみ、パーフォレーション穴が自分から見て右側にくるようにして時計回りに巻く。

茶色っぽい非光沢な面(乳剤面)が外側、光沢面が内側になる。

シングルフィルムはカートリッジの構造の違いから、フィルムが持つ自然なソリとは逆にして巻き取る。

以上